

資料 3

Ⅱ② 経営健全化計画の実施状況報告の概要について

○経営健全化計画の実施状況の報告を行った団体

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ
病院事業	兵庫県	川西市	病院事業会計	1
	福岡県	小竹町	小竹町立病院事業特別会計	3
宅地造成事業	青森県	青森県新産業 都市建設事業団	桔梗野工業用地造成事業会計	5
			百石住宅用地造成事業会計	7
	山口県	下関市	臨海土地造成事業特別会計	9
観光施設事業	奈良県	宇陀市	保養センター事業特別会計	11
	高知県	高知市	国民宿舎運営事業特別会計	13
その他事業	北海道	釧路市	釧路市設魚揚場事業会計	15

兵庫県川西市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

(1) 診療体制の充実(前年度末比)

- ・ 整形外科医師の確保 1人増

(2) 医業収益増収に関する改善額

- ・ 休床中病棟の再開による稼働病床の拡充

休床中病棟(3階南病棟)の再開等を平成27年5月に実施し、稼働病床を従前の199床から234床とした

- ・ 救急車搬送患者の積極的受入れ、時間外救急患者対応時の適正対応、受入れ可能症状(疾患)の拡大
- ・ 分べん費用減額改定 分べん費用の平均が約54万円から約48万円になるよう減額 分べん件数比較 前年度比13件増
- ・ 認知症ケア加算1の適用(平成30年2月から)

平成29年度実績 約182万円増収

- ・ 適切な退院支援による退院支援加算の見直し(平成28年7月から)

平成29年度実績 約354万円増収

- ・ 心大血管疾患リハビリテーション料の実施(平成29年1月から)

平成29年度実績 約260万円増収

- ・ その他の増収策

排尿自立指導料の算定実施(平成30年2月から)

(3) 医業費用抑制に関する改善額

- ・ 兵庫県市町村職員退職手当組合負担金の見直し

兵庫県市町村職員退職手当組合負担金の負担率が減

約1億1,800万円減

- ・ 経費の見直し

エレベーターのオーバーホールや給食提供用の専用カートに係る

一時的な経費が減 約4,400万円減

(4) その他の取組み

- ・ 電子カルテシステムの本格稼働

診療の円滑化及び効率化の向上とともに、院内情報の共有化

- ・ 患者支援センターを1室から2室へ

患者支援体制の充実

・病院機能評価の更新

平成 30 年 1 月の病院機能評価の更新審査に向け、年度当初から審査対象となる療養環境の改善や患者向け情報発信の充実に取り組み更新

(5) 一般会計からの支援

病院経営安定化支援補助金 2.5 億円

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 27 年度)	平成 28 年度 (第 2 年度)	平成 29 年度 (第 3 年度)	平成 30 年度 (第 4 年度)
当初計画 A			346,000	17,000	△92,000	149,000
解消実績額 B			401,956	△52,923	△119,432	—
現在計画 C			401,956	△52,923	△119,432	149,000
B-A 又は C-A			55,956	△69,923	△27,432	—
資金不足額		1,018,360	616,404	669,327	788,759	639,759

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

区分	年度	計画初年度 (平成 27 年度)		平成 28 年度 (第 2 年度)		平成 29 年度 (第 3 年度)		平成 30 年度 (第 4 年度)	備考	
		計画初 年度の 前年度	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値		
資金不足比率		25.8	15.1	13.8	13.3	14.0	14.9	16.9	11.8	医業収益及び資金不足解消額が計画に届かなかったため。

※ 「備考」欄には、当該年度（平成 29 年度）の計画値と実績値の差異の理由について記載している。

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・認定看護師等の育成を図るとともにチーム医療を推進することで、診療報酬上の加算算定に繋げている。

福岡県小竹町 小竹町立病院事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・救急輪番日を月2日から5日にすることにより、救急患者の受け入れを積極的に行い、入院患者数の確保に努めた。
- ・平成30年2月に入院基本料13:1の届出を行い、診療報酬単価の増加を図った。
- ・平成30年5月に地域包括ケア病床入院管理料(10床)の届出を行い、診療報酬増加を図っている。
- ・一般名処方、後発医薬品使用体制加算を平成29年2月から算定を開始し、診療報酬単価の増加となった。
- ・近隣医療機関等の非常勤医師報酬の調査を行い、平成29年4月から報酬の見直しを行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成28年度)	平成29年度 (第2年度)	平成30年度 (第3年度)	平成31年度 (第4年度)
当初計画A		△85,116	△58,753	△8,134	65,164
解消実績額B		△42,925	△14,037	—	—
現在計画C		△42,925	△14,037	△8,134	65,164
B-A又はC-A		42,191	44,716	—	—
資金不足額	105,247	148,172	162,209	170,343	105,179

備考

- 1 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成28年度)		平成29年度 (第2年度)		平成30年度 (第3年度)	平成31年度 (第4年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値		
資金不足比率	22.9	45.8	32.1	43.5	33.3	31.8	18.2

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 外来患者を対象に、病院満足度のアンケートを実施
- ・ 経営健全化推進会議ほか院内における会議、ミーティングを実施し、職員の経営改善への意識改革に向けた取組みを行った。

青森県新産業都市建設事業団 桔梗野工業用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・八戸市からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。(80,571千円)
- ・他会計剰余金からの長期借入れについては、増額のうち継続実施。(1,342,000千円)
- ・平成48年度までに軟弱地以外の2区画分譲の当初計画に対し、軟弱地以外1区画等を分譲。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		527,844	644,853	80,689	80,422
解消実績額 B		527,844	644,929	79,933	111,595
現在計画 C		—	—	—	—
B-A 又は C-A		—	76	△756	31,173
資金不足額	3,406,388	2,878,544	2,233,615	2,153,682	2,042,087

年度 区分	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)	平成29年度 (第9年度)
当初計画 A	80,437	80,711	80,719	80,727	80,498
解消実績額 B	82,152	227,420	82,441	82,439	61,296
現在計画 C	—	—	—	—	61,296
B-A 又は C-A	1,715	146,709	1,722	1,712	△19,202
資金不足額	1,959,935	1,732,515	1,650,074	1,567,635	1,506,339

年度 区分	平成36年度 (第16年度)	平成42年度 (第22年度)	平成48年度 (第28年度)
当初計画 A	80,605	80,715	113,211
解消実績額 B	—	—	—
現在計画 C	80,605	80,715	33,992
B-A 又は C-A	—	—	△79,219
資金不足額	922,606	438,135	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	453.8	383.5	383.5	297.9	297.8	287.1	287.4

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	276.4	277.6	265.7	265.9	254.9	234.4	244.1	222.7

年度 資金 不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)		平成 29 年度 (第 9 年度)		平成 36 年度 (第 16 年度)	平成 42 年度 (第 22 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	233.3	211.0	222.6	206.2	147.2	82.5

年度 資金 不足比率	平成 48 年度 (第 28 年度)
	計画値
資金不足比率	15.0

青森県新産業都市建設事業団 百石住宅用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・おいらせ町からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。(100,000千円)
- ・新たな他会計剰余金からの長期借入れを継続実施。(60,000千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		744,760	104,000	104,000
解消実績額 B		731,395	105,934	107,834
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△13,365	1,934	3,834
資金不足額	1,676,133	944,738	838,804	730,970

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A	104,000	104,000	104,000	104,000
解消実績額 B	106,228	106,959	399,480	28,154
現在計画 C	—	—	—	—
B-A 又は C-A	2,228	2,959	295,480	△75,846
資金不足額	624,742	517,783	118,303	90,149

年度 区分	平成28年度 (第8年度)	平成29年度 (第9年度)	平成30年度 (第10年度)
当初計画 A	104,000	104,000	99,373
解消実績額 B	19,396	19,824	—
現在計画 C	—	19,824	50,930
B-A 又は C-A	△84,604	△84,176	△48,443
資金不足額	70,753	50,929	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	980.9	562.3	563.4	542.0	546.6	493.3	608.5

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	440.4	556.1	382.8	518.8	319.8	118.8	250.6	84.0

年度 資金 不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)		平成 29 年度 (第 9 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	174.3	66.4	89.8	47.8	—

山口県下関市 臨海土地造成事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

平成29年度は、以下のことを実施した。

- ・新港地区・長州出島において、産業振興用地の整備を行った。
- ・長州出島7番2(12,112㎡)について、販売用土地として計上した。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成23年度)	平成24年度 (第2年度)	平成25年度 (第3年度)
当初計画 A		△155,432	△1,111,063	110,857
解消実績額 B		96,453	△1,248,435	166,736
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		251,885	△137,372	55,879
資金不足額	1,300,695	1,204,242	2,452,677	2,285,941

区分 \ 年度	平成26年度 (第4年度)	平成27年度 (第5年度)	平成28年度 (第6年度)	平成29年度 (第7年度)
当初計画 A	227,176	85,783	579,421	3,247
解消実績額 B	223,114	40,142	56,241	254,794
現在計画 C	—	—	—	254,794
B-A 又は C-A	△4,062	△45,641	△523,180	251,547
資金不足額	2,062,827	2,022,685	1,966,444	1,711,650

区分 \ 年度	平成30年度 (第8年度)
当初計画 A	3,627,880
解消実績額 B	—
現在計画 C	3,627,880
B-A 又は C-A	—
資金不足額	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 23 年度)		平成 24 年度 (第 2 年度)		平成 25 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	25.8	32.4	26.8	60.1	57.8	59.0	55.8

年度 資金 不足比率	平成 26 年度 (第 4 年度)		平成 27 年度 (第 5 年度)		平成 28 年度 (第 6 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	54.5	51.5	44.0	47.3	27.6	38.3

年度 資金 不足比率	平成 29 年度 (第 7 年度)		平成 30 年度 (第 8 年度)
	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	24.5	30.3	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ ホームページに売却用地の情報を掲載するとともに、企業誘致の観点から部局間で連携し、積極的な販売促進活動を行った。
- ・ 平成 27 年度より新港地区・長州出島において産業振興用地の整備を行うため、平成 27 年 3 月に市議会の議決を経て、経営健全化計画を変更した。

奈良県宇陀市 保養センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 22 年 10 月 1 日から株式会社休暇村サービスによる指定管理運営となり、宇陀市保養センター事業特別会計は同日から宇陀市商工観光課の主管となり、引き続き宇陀市保養センター事業特別会計とその経営健全化計画を管理している。
- ・指定管理者の営業収益は 366,915 千円であり、計画額（385,000 千円）を下回ったものの、平成 29 年度の一般会計からの繰入額は 156,506 千円であり、計画額（147,000 千円）以上に実施した。その結果、資金不足額（H28→H29△138,005 千円）及び資金不足比率（H28→H29△38.3%）は前年に比べて減少した。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		98,216	64,200	△144,581
解消実績額 B		43,911	△6,909	91,870
現在計画 C		—	—	—
B-A		△54,305	△71,109	236,451
資金不足額	1,276,441	1,232,530	1,239,439	1,147,569

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	70,480	82,681	133,145	134,470
解消実績額 B	80,272	△65,722	332,809	205,847
現在計画 C	—	△93,905	351,537	188,737
B-A	9,792	△148,403	199,664	71,377
資金不足額	1,067,297	1,133,019	800,210	594,363

年度 区分	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 32 年度 (第 12 年度)
当初計画 A	161,668	150,758	151,043	147,247
解消実績額 B	251,192	138,005	—	—
現在計画 C	262,404	△167,036	176,417	174,709
B-A	89,524	△12,753	25,374	27,462
資金不足額	343,171	205,166	351,302	0

備考

- 1 「当初計画 A」は、平成 21 年度に策定された変更前の計画における資金不足額の解消計画額。
- 2 「解消実績額 B」は、当該年度の資金不足額と前年度の資金不足額の差。
- 3 「現在計画 C」は、平成 25 年度に変更された計画における資金不足額の解消計画額。
- 4 「資金不足額」について、平成 29 年度分までは実測値、平成 30 年度及び 32 年度は平成 25 年に変更した計画における目標値

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	275.1	267.8	291.2	237.0	333.7	251.7	316.1

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	224.2	287.2	306.1	297.2	213.6	215.2	163.9	160.6

年度 資金 不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)		平成 29 年度 (第 9 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 32 年度 (第 12 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	94.9	94.2	137.0	55.9	91.2	0.0

高知県高知市 国民宿舎運営事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

○資金不足額の推移

建設改良費等の支出額が計画値を下回ったため、資金不足額は計画より減少した。

- ・ 資金不足額 H29 計画：376,232 千円、H29 実績：342,806 千円
- ・ 建設改良費 H29 計画：31,051 千円、H29 実績：8,337 千円

○計画と実績

一般会計繰入金により収支改善したものの、事業の規模が計画値を下回ったため、資金不足比率は計画を上回った。

- ・ 資金不足比率 H29 計画：138.2%、H29 実績：149.0%
- ・ 事業の規模 H29 計画：272,226 千円、H29 実績：229,959 千円

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		△35,907	△97,249	60,060
解消実績額 B		△28,087	△87,944	48,850
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		7,820	9,305	△11,210
資金不足額	765,310	793,397	881,341	832,491

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	73,620	118,168	128,414	154,178
解消実績額 B	△454,604	109,814	125,963	183,992
現在計画 C	—	—	125,963	183,992
B-A 又は C-A	△528,224	△8,354	△2,451	29,814
資金不足額	1,287,095	1,177,281	1,051,318	867,326

年度 区分	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
当初計画 A	267,669	242,434	261,353	271,484
解消実績額 B	265,307	259,213		
現在計画 C	265,307	259,213	267,487	271,484
B-A 又は C-A	△2,362	16,779	6,134	0
資金不足額	602,019	342,806	75,319	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	238.0	248.0	240.2	250.5	246.7	247.1	279.7

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	225.4	457.7	429.3	436.8	382.2	401.5	325.5	336.3

年度 資金 不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)		平成 29 年度 (第 9 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	227.2	235.2	138.2	149.0	42.1	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成 22 年度から 10 年間にわたり改築資金の起債元金について一般会計から繰入を行い、資金不足比率の改善を図る。

北海道釧路市 釧路市設魚揚場事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画を上回って実施（410,230千円）。
- ・資金不足額の解消実績額は当初計画値を下回ったが、資金不足比率については、当初計画値どおり低減。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		287,301	281,218	298,407	295,466
解消実績額 B		279,469	271,397	297,423	302,067
現在計画 C		—	—	—	—
B-A 又は C-A		△7,832	△9,821	△984	6,601
資金不足額	2,913,900	2,634,431	2,363,034	2,065,611	1,763,544

年度 区分	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)
当初計画 A	295,716	295,912	296,826	296,944	297,063
解消実績額 B	329,773	317,338	303,928	316,675	296,978
現在計画 C	—	—	—	—	297,063
B-A 又は C-A	34,057	21,426	7,102	19,731	△85
資金不足額	1,433,771	1,116,433	812,505	495,830	198,852

年度 区分	平成 30 年度 (第 10 年度)
当初計画 A	297,934
解消実績額 B	—
現在計画 C	297,934
B-A 又は C-A	0
資金不足額	—

備考「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	2,933.9	2,854.7	3,320.5	2,555.4	3,117.3	2,230.2	2,503.2	1,908.3	2,448.0

年度 資金不足比率	平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)		平成 28 年度 (第 8 年度)		平成 29 年度 (第 9 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	1,586.1	2,024.7	1,263.7	1,170.1	940.3	919.3	616.8	613.2	293.1	261.2

年度 資金不足比率	平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値
資金不足比率	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・なし